



# うさぎ新聞

2014(平成26)年10月発行



この度、うさぎ新聞 2014 年秋号を発行させていただきました。暑い夏も終わり、過ごしやす季節となってきました。運動会やご旅行などの予定もある方も多いかと思えます。すべて健康あってのものです。当クリニックがみなさまのお役に立てるよう今後とも努力してまいります。

当クリニックでは診療の質の確保、レベルの向上と患者さまの利便性改善のため、8月末から2階部分の増築工事を行っております。診療を行いながらとなっております関係上、皆様方には音や振動で大変ご迷惑おかけいたします。また、安全面につきましては最大限の配慮をさせていただいておりますが、来院されます保護者様におかれましては工事区域周辺へお子様が立ち入らないようご注意をお願いいたします。

また、10月から医療上の大きな出来事として、水痘（みずぼうそう）ワクチンが定期接種化（無料化）されました。今までは任意ワクチン（自費）でしたが、すべてのお子様に無料で接種できるようになりました。

当クリニックでもあきる野市に在住で対象年齢のお子様に接種させていただきます。ぜひご予約ください。

この号では富加津医師、佐藤医師のご紹介、看護師からのホームケア、さらに事務局からお知らせを掲載しております。お忙しいとは存じますが、ぜひご一読ください。よろしくお願いいたします。

医療法人社団 みやびの会  
理事長 小林雅史

院長  
より  
ひと  
こと  
を



診療時間のご案内

一 般 外 来		
月～金曜日 9:00～12:00 (受付 8:45～12:00) 16:00～19:00 (受付 15:45～18:45)	土曜日 9:00～12:00 (受付 8:45～12:00) 14:00～17:00 (受付 14:00～16:45)	日曜日 9:00～12:00 (受付 8:45～12:00)
乳児健診専門外来 月、水曜日 15:00～16:00 (受付 14:30～)		予防接種専門外来 火、木、金曜日 土曜日 15:00～16:00 12:30～13:00 (受付 14:30～) (受付 12:15～)

お困りの時にいつでも受診できますよう平日は夜7時、土曜日は夕方5時まで、日曜日も診療いたします。



## 富加津医師より

1年前、うさぎ新聞 No.2 で感染症についてお話しました。その中で細菌とウイルスの違いについて触れました。



細菌はまわりに養分があれば分裂して増殖します。中学の理科で習った細胞分裂。イメージしやすいと思います。

しかしウイルスは細胞をもたず、遺伝子の塊のような存在。そのままの状態では増殖できません。生物の細胞に入り込み、乗っ取ります。乗っ取られた細胞はウイルス増殖細胞のようになってしまいます。こんなふうイメージすると、ウイルスがとても怖くなります。しかもウイルスには抗生剤（正確に言えば抗菌薬）が効きません。抗生剤を飲んでもすぐに熱が下がらないのは原因がウイルスだからかもしれません。



抗生剤に限りませんが、薬には作用と同時に副作用があります。ウイルス感染に抗生剤を使うと、効果はゼロ、副作用のみになってしまいます。抗生剤を使いすぎたために耐性菌（抗生剤が効かない細菌）も問題になっています。耐性菌に対する新しい抗生剤の開発。さらなる耐性菌の出現。この現状は人と細菌の いたちごっこ と言われています。ですから抗生剤の使用は慎重でなければいけません。

細菌感染にはすばらしく効果のある抗生剤を切り札として使いたい。このように感染症に向き合うことが大切と考えています。



## 佐藤医師より



日曜日の外来を担当させて頂くことになりました佐藤と申します。土日にも発熱や咳などの症状が急にいたり、平日に受診しようと思ってもなかなか受診出来ずに症状が続いてしまうことがあると思います。日曜日でも平日の外来と同じようなかかりつけの診療を心がけていきたいと思いますので宜しくお願い致します。

佐藤医師は小児科非常勤医師として第1・3・5週の日曜日に診療しております。宜しくお願い致します。



# うさぎナースからの お母さんに伝えたいホームケア



## — 今回のテーマ — 水痘（みずぼうそう）



今回は10月からワクチンの定期接種が開始される水痘についてお話しします。



### 水痘（みずぼうそう）とは

お子さんの病気として良く知られている水痘は、ウイルスによる感染症です。接触やくしゃみ・咳などの飛沫、空気中のウイルスから感染します。1度かかると免疫ができるため、通常は2度かかることはありません。ただし、治った後もウイルスは体の中に潜伏していて、加齢や抵抗力が落ちた時に帯状疱疹として再発することがあります。お子さんの水痘はそれほど怖い病気ではありませんが、治療が遅れたり、アトピー性皮膚炎など他に皮膚の病気がある場合は重症化することがありますので、早めに受診しましょう。

水痘にもっともかかりやすい時期は1~2歳で、患者さんのほとんどが10歳までのお子さんと言われています。

### 症状

感染すると約2~3週間の潜伏期間を経て、37~38℃くらいの発熱とともに全身に小さな赤い発疹や水ぶくれができます。3日間くらいには次々に新しい水ぶくれが出てきます。

### 登園・登校のめやす

水痘は感染力が非常に強く、周囲の人に感染しやすいため、学校保健法で登校基準が定められており、すべての水ぶくれがかさぶたになるまで出席できません。水痘にかかったら、保育園・幼稚園・学校の先生に連絡しましょう。一般に、すべての水ぶくれがかさぶたになる頃には人にうつらなくなるので、登園や登校ができるようになります。登園や登校を再開する時期は、医師に相談しましょう。



# 事務局より

今年もインフルエンザワクチンの接種を開始します。

予約受付期間 H26年9月14日～H27年1月31日

接種実施期間 H26年10月15日～H27年1月31日

平日 午前 10:00～12:00 午後 17:00～18:00

土曜 15:00～16:00

金額 1回¥3,500(税込)、65歳以上の西多摩地区にお住まいの方は¥2,200になります。



13歳未満 2回接種(2回目は1回目から2～4週間後をお願いします。)

13歳以上 1回接種

当院のインフルエンザワクチンは1歳から接種可能です。

妊娠中の方は産科主治医に接種可能の有無をあらかじめお聞きいただきますようお願いいたします。

卵アレルギーをおもちの方は接種できません。

インフルエンザワクチンと別のワクチンとの同時接種をご希望する方はワクチン接種時に医師に直接ご相談ください。事前の同時接種のご予約は医学的判断が必要なためお受けできません、ご了承ください。

**15歳未満のお子様で当クリニックホームページのワクチン予約システムをご利用いただいた方は、接種当日の受付の際にお申し出いただければ1回3000円(税込)に割引させていただきます。**

15歳以上の方の接種は予約しなくても接種は可能です。

ぜひ、ご家族でご予約お願いいたします。

医療法人社団 みやびの会

こばやし内科小児科クリニック



当日の診療順番予約はアイチケット

<http://paa.jp/t213/0/>



予防接種、乳児健診の予約は

<http://www.0425182088.com/i/>



〒197-0802 東京都あきる野市草花 1439-9

TEL 042-518-2088

HP <http://Kobayashi-naika-shounika-clinic.com>

(あきる野市 小児科 で検索して下さい。)

休診日 祝日

